

城山成人学校開講

新設1講座含め30講座 508名の皆様が受講

本年度の城山公民館成人学校は、昨年より1講座増え、30講座が成立しました。初めて成人学校に申し込まれた方々も多く、和やかな中にも充実した学びが始まっています。



発行所 長野市立城山公民館
電話 232-3111
編集 小林洋子
発行人
印刷所 富士印刷

管内の世帯数 (29・6・1)
第1地区…2,789
第2地区…5,359
合計…8,148世帯



善光寺平の歴史散歩



木版画



太極拳(木)



書道



着物をリフォーム



英語・英会話応用



ハワイアンフラ入門



楽しい日本画とスケッチ



太極拳(月)



書道「写経入門」



謡曲初級



パッチワーク・キルト



茶道(水)



囲碁入門



たのしいハーモニカ教室



古典文学



書道初級



英語・英会話基礎



郷土史「善光寺」



実用英会話初級



茶道(火)



洋画



華道初級



実用英会話入門



四季をたのしむ盆栽



洋画「人物画」



水彩画初級



水彩画上級

講座名が変わりました

講師が変わりました

新たにスタート!

今年度から「のびのび骨盤調整ヨガ®」講座が新設されました。また、講座名が変わった「四季をたのしむ盆栽」は、四季折々の盆栽の生長や枝葉の変化を楽しみ、「やさしい洋裁」は、今まで以上に洋服を手作りする楽しさを学んでいます。

新設講座

のびのび骨盤調整ヨガ®

『産後の体調改善を願う』

坂田 洋子

身体は硬い私にとっても、初めは簡単なストレッチでも思わず声が出てしまうほどの痛みを感じました。痛気持ち良い所を意識しながら身体を動かしているうちに、ガチガチに凝り固まった筋肉や関節がほぐれて、サーッと血が巡っていく感覚がありました。



のびのび骨盤調整ヨガ®

今まで、ほとんど意識しないで来てしまった自分の身体ですが、右側の足が動かしにくいな、おしりの筋肉が凝っているな、などの自分の身体と向き合う時間はとても心地よかったです。

産後、腰痛をはじめとした身体の不調や体重の増加に悩まされてきました。が、受講をきっかけに、改善できたらしいなと思えます。体重減も密かに期待しながら頑張りたいと思います。

リニューアル講座

やさしい洋裁

『好きな生地で、自分の服を作る喜び』

市川 百合子

将来子どもが出来た時、子供服を自分で作れたら素敵だなあ。そんな想いで、春からやさしい洋裁教室に通いはじめました。

ミシンを使うのは、小学生の頃家庭科で使った以来。糸のかけ方も分からない状態からのスタートでしたが、先生が一人



やさしい洋裁

事を知る。出来なかつた事が出来るようになる。その過程を楽しんで学んでいきたいと思っています。

平成29年度 城山公民館職員等

- 館長 小林 洋子
- 係長 岩田 要
- 職員 岩本 友香
- (11月)
- (新任) 岡村 律子
- 平井 敦子
- 赤羽喜美江
- 転退職員

▽第一地区分館

- 分館長 黒井 昭
- 分館主事 北條 千秋
- ▽館報「城山」編集委員
- 編集委員長 柄澤 申一
- 編集委員 北條 千秋
- 荒木 建治
- 角田 紀久

▽城山公民館運営審議会委員

- 第一地区住自協会長 小池 公雄
- 第一地区民生児童委員 岩倉 正江
- 第一地区横沢町公民館長 廣澤伊一郎
- 第二地区住自協会長 小林 勲
- 第二地区青少年健全育成委員長 石坂 真一

第二地区滝区公民館長

- 有識者 北澤 仁己
- 西部中学校長 中本佳代子
- 湯谷小学校長 和田 裕
- 小山八寿子

足もとから知る わが町の成り立ち

連載④「善光寺地震の爪あと」

① 戸隠地質化石博物館 田辺 智隆
本堂に残る傷跡

江戸時代末期に発生した「善光寺地震」は、長野市周辺で発生した地震の中で、規模や被害が最大級のもので、長野の防災を考える上で重要な教訓となつています。今回は2回にわたつて、この地震を紹介します。

善光寺地震は、弘化4年(1847)5月8日、午後10時ごろに発生しました。当時の被害状況から地震の規模はマグニチュード7・4と推定され、阪神大震災

や昨年の熊本地震より規模の大きなものとされます。善光寺本堂の左側にある大きな釣鐘が振動で落下し、その際に付いた傷跡も残っています。こうした傷跡は長野市の直下で発生し、突き上げるような激しい揺れだったことを物語ります。夜間に発生した強い揺れは、行灯を倒し、火災の原因となりました。善光寺門前や稲荷山宿などでは大規模火災が発生しました。善光寺門前の宿坊は、御開帳の期



地震塚



釣鐘が落ちた時の傷
(善光寺本堂西側の柱)

間で全国から集まった参拝客で満杯で、約3千人もの身元不明の焼死者があったと伝えられ、その慰霊碑「地震塚」が善光寺の東側に建てられています。

このとき千曲市から飯山市にかけて続く、長野盆地西縁断層約40kmが動きました。一部では地表に段差が現れました(地震断層)。県庁近くの「ひまわり公園」

ではこの地震断層の跡を今でもみることが出来ます。この断層の動きは、西側の山地が隆起し、盆地側が沈むという、長野盆地を造つた大地の動きのひとつです。今後の地震を予測するためには、こうした断層の動きを地質的に詳しく調べることがあります。

② 善光寺平を襲つた大水害

今から170年前に発生した善光寺地震は、善光寺門前を中心に揺れやそれに伴う火災によつて大きな被害が生じました。そのほかにも、西山地区では山崩れが多数発生しました。山崩れで集落がほぼ全滅してしまつた場所もあります。また、山崩れが川をせき止め、水害が発生したことも知られています。その最大のものが岩倉山の崩落で、現在の水篠橋が犀川をせき止めてしまつたものです。

【つづく】

シリーズ我が町 立町 区長 吉澤 晃一



我が立町に
も、古き時代
から今日まで
残されている

性質をもち、この2つの町は、善光寺領の他の町とは大変違つており、町の人々も御門前と言つて気位をもつていたそうです。

史跡、伝説として、天神社、皇太神宮、御門前があり、また明治時代に入つて、明治4年(1871)廃藩置県に伴う長野県庁(明治7年西方寺より移転、新庁舎落成)、松本裁判所長野支庁(明治11年開庁)が町内または付近に存在し、立町は当時の長野町の中心的役割を果たしていた町です。現在も、その当時の面影を残している建物の一部、石積み、石碑が残されています。

また、明治天皇行幸の碑の案内板には、この地の住所として長野市大字長野字御殿1149と記載されています。住民票は、長野市大字長野立町1149となっています。なぜこの地に御殿の名が付いているかと言うと、江戸時代松代藩の殿様が善光寺に來たり、鷹狩りに來たりした時の宿泊所としての仮御殿があつたからと聞いています。

皇太神宮は、大本願の守り神様で創建は不明ですが、弘化4年(1847)の善光寺大地震により消失した為、4年後現地(神明町現立町)に移り、嘉永4年(1851)9月吉日上棟式を行い造営されたことが判つています。この皇太神宮は、平成26年秋、社殿の老朽化により維持管理が困難となり、惜しまれつつやむなく立町天神社に遷座し合祀されました。

今年度の立町は、市報の配布軒数が75軒で、高齢化も進み、少子高齢化の悩みを抱えています。互いに声かけをし、お年寄りにやさしい町を目指しています。

江戸時代の立町は前述の様に御門前と通称され、大本願の直接の家来、大本願に関わる職人さんの町であり、大本願に付属(大勧進・横沢町)していて、善光寺境内の町という様な



明治天皇行幸之処

城山公民館 歴史シリーズ(全4回)

「さよなら、蔵春閣」①

ぞうしゅんかく

一 はじめに

長年にわたり市民の皆様にご覧いただき、誠にありがとうございました。蔵春閣(現城山公民館別館ホール)が、平成30年4月から閉館となり、それ以後使えなくなり、コンクリートの耐用年数が過ぎ、耐震構造もなされていいため、継続して使用するには危険であると判断されました。尚、「本館」は引き続きご利用いただけます。若い世代の皆様には「蔵春閣」という名前は馴染みがな

いかもありませんが、思い出深い方々も多いのではないのでしょうか。そこで、今年度の館報「城山」では、4回シリーズで「蔵春閣」が歩んできた歴史をたどり、果たしてきた役割やエピソードを多くの皆様に知っていただきたいと考えています。そして、一時代を担ってきた「蔵春閣」が幕を閉じる日を皆様と共に惜しみながら迎えられることを願っています。

以前の「蔵春閣」は、昭和24年厳寒の2月に不慮の火災に遭い、焼失しました。炎上の様子を市街地にお住まいだった70歳以上の方でしたら記憶されているかもしれません。当時、近くに住んでいらつしゃった方は「4・5才のころ、寝入った夜半前、火事だ」と起こされ、見上げるとボウボウと上がる巨大な炎を見ました。まるで巨大なロウソクのようなでした」と思い出を語られています。

その後、市民から「蔵春閣」再建の要望があり、市政70周年記念事業として、近代建築の粋をあつめた鉄筋コンクリート造り地上4階建ての建物と1階建ての建物が、昭和42年4月に完成し、同5月に市民に開館されました。総事業費1億300万円、延べ面積1723平方メートル高さ24メートル、2階は大食堂で250人収容できたとすです。当時の使用料の記録が残っていて、

大ホール(現在1階ホール)3500円、中会議室(結婚式場)1200円、小会議室700円、和室900円と500円、音楽堂(屋上)1700円。50年前(ライメン1杯70円の時代)ですから、今の通貨価値とは違いますが、多くの市民の皆様が利用されたことでしょう。現在、ホールで社交ダンスをされているサークルの皆様の中に、当時、ホールを使って若者がたくさん集まるダンスパーティーを何回も開いたことを懐かしく語ってくださいる方がいました。また、多くのカップルが、「蔵春閣」で結婚式を挙げられました。時代の先端を行く「蔵春閣」での結婚式は、若い方々のあこがれだったのではないのでしょうか。

明治11年(1878) 明治天皇が信濃路を巡幸した際、城山の丘に立ち、桜花咲く善光寺平の春景色をめでられたゆえんから「春を一望の下に見渡しえるところ」すなわち「蔵春閣」となったそうです。



城山公民館図書室 新刊図書のご案内 ※他にもご希望の本がありましたら、お問い合わせください。

Table with 2 columns: Book titles and authors. Includes titles like 'また、同じ夢を見ていた' by 住野よる, '「脇坂副署長の長い一日」' by 真保裕一, and '「失われた地図」' by 恩田陸.

編集後記 今年度は雪の多い寒い冬でしたが、皆様は元気に過ごしてくださいました。1月に城山公民館に協力していただき、三輪田町・淀ヶ橋のスキー教室を戸隠で行うことができました。当日は、あいにくの天気ですが、大人と子どもを合わせて約50名の参加で元気に楽しく過ごすことができました。今年度も昨年に引き続き、編集委員をやらせていただきますので、よろしくお願いたします。(荒木)

あちこちスナツツ 今はない「柳町小学校」 名の入った門柱が、「柳町中学校」名の入った門柱と並んで、柳町中学校北門に残っています。 Includes a photo of a gate with a sign for '柳町小学校'.